

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2020年度 パフォーマンス向上会議情報(2020年8月11日(火)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2020年8月11日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	【実施計画変更申請時における既認可内容の反映漏れについて】 「1～4号機周辺防護施設工事に関する変更」の実施計画変更申請時に、既に認可されている大型廃棄物保管庫設置の内容を反映させなかったため、内容の一部が削除され、最新認可版の実施計画と既認可内容とに不整合が生じたことを当社社員が確認。 原因は、認可された内容の情報共有が関係各所で十分でなかったため変更申請に反映されなかったと推定。 今後、原因の深掘りとそれを踏まえた再発防止策を検討。	G II	8月4日
2	【5号機化学分析室の空冷式冷却水循環装置(A)の起動不能について】 5号機化学分析室の空冷式冷却水循環装置(A)の点検および給気コイル交換後の試運転で起動できないことを当直員が確認。状況を確認したところ、圧縮機(A)の基板絶縁不良、冷水ポンプの流量不足等を確認。 他の空冷式冷却水循環装置を運転することにより化学分析室への影響はない。 今後、点検修理予定。	G III	8月5日
3	【5号機化学分析室の空冷式冷却水循環装置(C)のファンモータ(D)の絶縁不良について】 5号機化学分析室の空冷式冷却水循環装置(C)の点検および給気コイル交換後の試運転でファンモータ(D)本体の絶縁不良およびファンモータ(D)の基板絶縁不良を当直員が確認。 圧縮機(D)とファンモータ(D)を隔離することで、空冷式冷却水循環装置(C)の運転に支障はなし。 今後、点検修理予定。	G III	8月5日
4	【5号機化学分析室の空冷式冷却水循環装置(B)のファンモータ(A)の故障について】 運転中の5号機化学分析室の空冷式冷却水循環装置(B)において、ファンモータ(A)の故障を知らせる表示を当直員が確認。 圧縮機(A)とファンモータ(A)を隔離することで、空冷式冷却水循環装置(B)の運転に支障はなし。 今後、点検修理予定。	G III	8月6日
5	【6号機残留熱除去海水系空調設備(B)の冷水空気抜き弁全開操作不能について】 6号機残留熱除去海水系空調設備(A)の点検終了に伴い、同設備(B)から(A)に仮設ホースを接続して水張りをしようとしたところ、同設備(B)の冷水空気抜き弁が全開しないことを当直員にて確認。 原因については調査中。 当該弁は通常「全閉」であるため、開操作不能による系統への影響はなし。 今後、点検修理予定。	G III	8月5日
6	【多核種除去設備運転管理他業務委託における体調不良者の発生について】 既設多核種除去設備の巡視業務終了後、当該設備の建屋から退出する際、体調不良の協力企業作業員を他の協力企業作業員が発見。 その後、救急医療室にて、熱中症 I と診断され、点滴等の処置を受け退出。 今後、再発防止対策を検討。	G III	8月5日
7	【増設雑固体廃棄物焼却設備設置工事における負傷者の発生について】 協力企業作業員が増設雑固体廃棄物焼却設備設置工事において、消石灰輸送ホースの布設作業中、ホースの位置の微調整のため、ホースを動かしていたところ、当該ホースが床上1.7mから0.7m程度下にたるみ、直下でしゃがんでいた当該作業とは別チームの協力企業作業員の頭に当たってしまった。 被災者の意識ははっきりしていたが、救急医療室にて負傷した箇所の治療を受けた。 今後、再発防止対策を検討。	G III	8月6日
8	【窒素ガス分離装置(A)の制御コントローラ用バッテリーコネクタの損傷について】 窒素ガス分離装置(A)の警報改造に伴う警報試験実施中、協力企業作業員が制御コントローラの片側端子を引き抜こうとしたところ、誤って両側端子一体の状態を引き抜いてしまい、当該コントローラのコネクタ部を損傷。 窒素ガス分離装置は、他の窒素ガス分離装置で運転中のため運用上は問題なし。 今後、制御コントローラの取替を予定。	G III	8月6日

